

令和4年 新春記者会見 要旨

1 はじめに

- ・ 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
- ・ 年頭にあたり、まずは、現在も新型コロナウイルス感染症に対し、最前線で献身的に従事されている皆様に、敬意を表しますとともに、感謝を申し上る。

2 昨年を振り返って

(1) 本市の新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 昨年を振り返ると、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組んできた1年
- ・ ワクチン接種について、市民をはじめ、市医師会や歯科医師会、薬剤師会、企業・大学など、関係団体との緊密な連携・協力のもと、オール宇都宮で取り組み、10月には接種対象者の8割が2回目の接種を終え、現在は約9割の方が終了
- ・ 中小企業の事業継続に向けた市独自の支援金や運転資金の融資に取り組むとともに、プレミアム率30%の商品券の発行などの消費喚起策に取り組むなど、総額100億円規模の経済対策を実施

(2) コロナの状況下における市民の挑戦

- ・ 自治会において、アプリなどを活用して会員同士の交流を図るなど、コロナの状況下においても新たに挑戦し続ける姿に市民の底力を感じた。

(3) 未来につながる出来事

- ・ 「NCC」の形成については、JR宇都宮駅東口地区における交流広場の着工や高度専門病院の開業など、県都の玄関口にふさわしい拠点の形成が着実に進むとともに、ゆいの杜には約30年ぶりに小学校が新設
- ・ LRTについては、鬼怒川橋りょう工事が完了したほか、車両見学会には2,000人を超える参加
- ・ 交通ICカード「totra」が導入され、6月には、日中、バスで市内のどこまで行っても片道400円となる上限運賃制度を開始するなど、便利で快適に移動できる環境づくりを推進
- ・ 7月には、再生可能エネルギーの地産地消を推進する地域新電力会社「宇都宮ライトパワー株式会社」を設立
- ・ 9月には、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を表明

3 年頭に当たっての決意

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症については、市民の皆様の日頃の感染予防に加え、ワクチンの迅速な接種などにより、感染状況は落ち着きを見せているところであるが、国内で新たな変異株による感染が確認されるなど、引き続き、感染状況を十分に注視しながら、迅速かつ的確に対応していくことが重要
- ・ 今後とも、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、感染症の拡大防止と、社会・経済活動の両立に取り組み、一日も早い、市民の日常生活と地域経済の回復に向け尽力

(2) 「スーパースマートシティ」の実現

感染症対策に取り組みながら、本格化する人口減少社会においても、本市が人や企業から選ばれ、将来にわたり安全・安心で持続的に発展し、世界共通の目標である「SDGs」に貢献できるよう、「NCC」を基盤としながら、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が融合し、「人」と「デジタル」を原動力に発展を続けられるまち「スーパースマートシティ」を、皆様と共に築き上げてまいります。

(3) 「NCC第2章」の幕開け

- ・ 特に、近年、地球環境への意識の高まりや、核家族化・高齢化の進行に伴う単身高齢世帯や自主的に免許を返納される方の増加など、日常生活の移動に関する環境は大きく変化する中、身近な地域で通院や買い物ができ、車が運転できなくても自立して生活できる、環境に優しい「NCC」の形成の加速化が求められている。
- ・ こうしたことから、本年は、都市拠点における駅東口地区のまちびらきや、公共交通の要となるLRTの開業が目前に迫るなど、「NCC」の姿が目に見える形となってまいりますことから、「つくる」から、「つかう」ステージへと躍進する、「NCC 第2章」の幕開けの年としてまいります。

4 令和4年の主な取組

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

・ ワクチン接種等の感染予防策の徹底

- ⇒ **新** 市医師会などの関係団体と連携した3回目のワクチンをいち早く受けられる環境整備
- ⇒ **新** 国において審議中の5歳～11歳のワクチン接種についても、承認され次第、速やかに対応できるよう準備

・ 日常生活と経済の回復

- ⇒ **新** 国の経済対策に加え、本市独自に所得制限を撤廃することにより、高校3年生までの子どもがいる全ての子育て家庭に対し、昨年末から、子ども一人あたり10万円の給付を順次、開始したところであり、生活困窮世帯についても迅速に給付
- ⇒ **継** 市民・事業者の声に耳を傾けながら、経済状況を注視し、時機を逸することなく支援策を実行できるよう準備

(2) 「NCC」の形成

・ 拠点化の推進

- ⇒ **新** 一条中学校の年度内の事業者公募に向けた準備
- ⇒ **新** 街中の屋内のあそび場である「ゆうあいひろば」のリニューアルオープン（4月）・・・**参考資料1**
- ⇒ **新** 「NCC」の核となるJR宇都宮駅東口地区のまちびらき（11月）
- ⇒ **拡** 総合的な治水・雨水対策の取組をなお一層推進

・ ネットワーク化の推進

- ⇒ **継** 公共交通の要となるLRTが走り出すまちの姿が日々、目に見えて現れてきており、令和5年3月の開業に向けて着実に整備
- ⇒ **新** 新たな市民の生活の足となる自転車や電動キックボードのシェアリングサービスの導入に向けた実証実験を実施
- ⇒ **新** 地域内交通への交通ICカードシステムの導入や、バスと地域内交通の乗継割引の実施などにより、日中の時間帯に適用されるバスの上限運賃制度と併せて、「どこから乗っても、乗り継いでも街ナカまで500円以内」を実現・・・**参考資料2**
- ⇒ **新** 公共交通を1人でも多くの方に利用していただけるよう「(仮称)Smart Move 乗らないと『もったいない』運動」を市民や事業者の皆様と共に盛り上げていきたい。

(3) 「3つの社会」の構築

・ 「地域共生社会」の構築

- ⇒ **継** 世代や分野を越えた困りごとを「丸ごと」受け止め、地域の相談機関が連携して支援を行う「(仮称)共生型地域包括支援センター」の令和5年度中の設置に向けた多機関連携の仕組みづくり
- ⇒ **拡** 地域の宝である子どもたちの健やかな成長に向けた子ども食堂への支援の充実、親の相談支援や子どもの学習・生活支援などを行う「親と子どもの居場所づくり事業」の本格実施
- ⇒ **継** 災害時における住民同士の助け合い(防災地域活動補償制度)や、魅力ある自治会づくりへの支援(魅力ある自治会づくり支援事業)

・ 「地域経済循環社会」の構築

- ⇒ **【拡】** 宇都宮市中央卸売市場において、市場の新鮮な生鮮食料品などを「買う」・「食べる」・「体験する」ことができる新たな交流や賑わいを創出する拠点となるよう、民間活力を活用した賑わいエリアを整備
- ⇒ **【拡】** J R宇都宮駅東口の交流拠点施設を中心に、M I C E主催者への支援やプロモーションの強化によるM I C Eの開催誘致に官民一体となって取り組む。
- ⇒ **【新】** 世界の名だたる都市で開催される「F I B A 3 x 3ワールドツアー」開幕戦を「うつのみや オープナー」として新たに誘致開催し、世界から多くの人々が訪れ、すべての「3 x 3」の選手が将来、宇都宮でプレーすることを夢見るような、世界に誇れる「3 x 3のまち宇都宮」を確立

・ 「脱炭素社会」の構築

- ⇒ **【新】** 本市が進める環境負荷の少ない「N C C」の基盤のもと、脱炭素型の新たなライフスタイルを先行して実践する、市民や企業のモデルとなる事業を構築し、国による脱炭素先行地域の選定を目指す。
- ⇒ **【新】** 本市の脱炭素社会の実現に向けて中核的に役割を担う、地域新電力会社「宇都宮ライトパワー株式会社」において、クリーンパーク茂原におけるバイオマス発電などによる電力を調達し、市有施設等に供給を開始（1月）
- ⇒ **【新】** 世界に類をみない取組として、L R Tの運行を地域内で生産した再生可能エネルギーのみで実現するなど、再生可能エネルギーの地産地消を先導（令和5年3月）

(4) 「2つの原動力」に関する取組

・ 「人」づくり

- ⇒ **【拡】** 若者の婚姻に伴う住居取得等への助成など、結婚支援の更なる充実に向けて取り組む。
- ⇒ **【新】** 保育所等の整備に加え、J R宇都宮駅周辺の局所的なニーズに対応した送迎保育の実施などにより、令和4年度には、年度当初のみならず、「年間を通した」待機児童ゼロの達成を目指す。
- ⇒ **【拡】** 中学校体育館に続き、夏頃には、すべての小学校体育館へ空調機器を設置
- ⇒ **【新】** 県と他市町と連携し、本県で42年ぶりとなる国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の成功と、未来の人づくり・地域づくりに継承

・ 「デジタル」の積極的な活用

- ⇒ **新** 「スーパースマートシティ」が実現する、住みやすく夢や希望がかなう未来の生活を、動画をはじめとした多様なコンテンツや、イベントなどのあらゆる機会を通して、市民の皆様が「実感」することで、本市が目指すまちへの「共感」につなげ、まちづくりの一員として「参画」していただけるよう取り組む。
- ⇒ **拡** 官民連携の「Uスマート推進協議会」において、これまでの交通、中心市街地活性化、健康づくりといった分野に加え、「安全・安心」などの新たな分野にも取組を拡充するなど、あらゆる分野における先進技術の利活用を目指した実証実験等を実施
- ⇒ **新** これらのまちづくりを通して、本市の都市力や魅力の更なる向上を図り、市民の皆様をはじめ、東京圏の若者や子育て世帯が、本市の住み良さや全国に誇れる子育て環境などを実感できるよう、戦略的なプロモーションを強力に展開し、市内外の人や企業から選ばれる都市を実現

5 むすび

本市が持続的に発展し、100年先まで輝き続けられる都市として国内外に宇都宮の存在をアピールできるよう、市民・事業者と共に汗をかきながら、「今を生きる市民と、未来を生きる子どもたちの誰もが豊かで幸せに暮らすことができるまちづくり」を力強く推進